

市長とドンドン語ろう！（産業版 移住編）意見交換内容 令和6年（2024年）9月25日（水）18時30分から20時 参加者：7人

テーマ：①ココが移住の決定打！！ ②こうしたらもっといい！！ ③やってほしい！アフターフォロー

ご意見	回答 ※（担当課）が記載されているものについては、意見交換後に市の考え方を示したものです。
<p>熊本に住んでいる方々は、お世話好きな方が多く、親身に接していただいている。地域の高齢者の皆さんから気軽に声をかけていただいたり、子どもたちの面倒をみてもらったりすることもあり、住んでいる方々の人情味を感じられることが熊本の大きな魅力だと思う。</p>	<p>【市長】 熊本の方々は他県から来られた方々に対しても、たいへん親切で人情味にあふれているという話をよく聞く。熊本の大きな魅力のひとつである温かい人柄や、人情味あふれる地域性を十分にいかし、効果的な移住プロモーションにつなげていく。</p>
<p>熊本の魅力と言えば、何と言っても豊かな地下水である。水前寺成趣園で、水本来の透き通った青さを初めて知り、きれいな水に感動した。また、食べ物やお酒が美味しいことも大きな魅力になると感じている。</p>	<p>【市長】 地下水は、本市が世界に誇れる魅力のひとつである。熊本への移住を考える大きなきっかけにもなるので、改めてしっかりアピールできているのかを考える必要がある。 また、生活するうえで「食」は重要な要素であることから、地下水がもとになっているともいえる熊本の「食」の魅力についても効果的なプロモーションを展開していきたい。</p>
<p>まちづくりを進めていくうえで、訪日外国人の方々を対象とした観光都市としての側面をアピールしていくことが必要だと感じている。例えば、アーケードの通りから分かれた横道も歩行者優先にして、オープンテラスのあるカフェ等を展開することや、ランドマークとなるような外国資本のホテル誘致等を行うことで、さらに良い観光都市になるのではないかと。</p>	<p>【市長】 熊本にはランドマークとなるような外国資本のホテルがなく、そのような点では他都市と比べて物足りなく感じる側面もあるようだ。今後、本市がさらなる国際化を目指すうえでも、熊本の快適な滞在に欠かさないホテルなどの誘致戦略も含め、工夫しながら取り組んでいく必要がある。</p> <p>（観光政策課） 高付加価値旅行や国際会議等の誘致のためにも、ホテル誘致は重要な施策であると考えている。現在、基礎情報の収集や国内先進地等の事例調査、デベロッパーやホテルオペレーターへのサウンディング調査等を行っており、今後も、当該ホテル誘致の方向性等については整理を進めていく。</p>

ご意見	回答 ※（担当課）が記載されているものについては、意見交換後に市の考え方を示したものです。
<p>移住者への就労に対する支援が必要だと感じている。移住後、どのような仕事に就ける見通しがあるのか等につき、分かりやすく示していただけると助かる。 需要のあるスキルを持った人が熊本に移住しようとする際に、スムーズに働けるような支援があると良いのではないかな。</p>	<p>【市長】 移住された方が、本市の中で仕事のコミュニティや企業等につながるような支援体制の整備が必要だと考える。</p> <p>（雇用対策課） 本市では、求職者と多種多様な業種の人手不足企業とが出会える機会を創出することを目的として、くまもと都市圏合同就職説明会を開催している。 今後も、移住者と企業をつなげる取組を効果的に展開することで、就労支援の充実に努めていく。</p>
<p>熊本市に移住した直後は、利用したことがない飲食店や医療機関等に入りにくいと感じていたので、市内の飲食店や医療機関の紹介といったサポートがあれば、移住先として熊本市を選びやすくなると思う。また、あわせて、コワーキングスペースとして使えるカフェなど、仕事に関連した情報提供もあるとさらに良いのではないかな。</p>	<p>【市長】 本市には雰囲気や居心地の良い飲食店が多くあるが、移住をされた方に対しては、飲食店に関する情報や医療機関への受診案内など、実際に生活するうえで不可欠となる食や医療のサポートについても考えていく必要がある。例えば、コワーキングスペースでのリモートワークの合間に気軽に利用できる飲食店の情報を、仕事に関連したものとあわせて発信するなど、移住後の生活がイメージできるようにすることで効果的なプロモーションにつなげていく。</p>
<p>子育て世帯の移住者に対するサポートがあれば、そのような方々も移住後に安心して暮らせるのではないかなと思う。 ライフステージが変わるタイミングでの交流会や相談、雑談などが気軽にできる窓口があれば良いのではないかな。</p>	<p>【市長】 熊本は子育てがしやすいという声もいただいているが、移住された方も含め、ライフステージのさまざまな場面で不安が募るときに相談や雑談ができる場所があると良い。 さらに、そのような相談者の方々が孤立しないよう、適した居場所につなげられるようなサポートもあれば、なお良いと思う。</p> <p>（雇用対策課） 本市では、移住者同士のコミュニティづくりを目的として、移住者交流会を開催しており、そのなかで、子育て世帯を対象としたものを実施するなど、ライフステージに合わせた支援を実施している。今後も、移住してこられた方に寄り添った支援を充実させていきたい。</p>
<p>移住した直後は、近くに知り合いがおらず、さみしい思いをする方も多いと思う。そこで、移住者が孤独にならないためにも、移住者同士が気軽に交流できる場をつくっていただくと移住生活がさらに充実したものになるのではないかな。</p>	<p>【市長】 本市では、移住者同士のコミュニティづくりを目的として、移住者交流会を開催している。 今後も、こうした交流会を続けていくとともに、より気軽に交流できる場を提供していくなど、熊本市に移住してこられた方々も暮らしやすい「上質な生活都市くまもと」の実現に向け取り組んでいく。</p>